

岡田っ子通信



松前町立岡田小学校

令和7年 11月

♪音楽会までが音楽会♪

音楽主任 重松 啓子

今年もやってまいりました、芸術の秋第2弾、音楽会。学校の音楽会のよい所は、64人～98人の学年の仲間で、一つの音楽をつくっていく所です。音楽が好きな子も苦手な子も、みんな一緒に。こんなことを経験できるのは、子ども時代の今だけです。

毎年子どもたちにも話しますが、音楽会は、音楽会当日だけの行事ではありません。当日までの日々が、音楽会という行事です。「先生、本番はちゃんとするけん」…いえいえ、本番だけががんばったって、音楽会の醍醐味は分かりませんよ。」「ムズい」「一緒に練習しよ」「つらされる～」「なんか分かってきた～」「合わせてみよや」「最後まで大きくしよう」…なかなか合わない所を友達と練習したり、楽器がうまくて先走りがちな子が友達と歩調を合わせようとしてたり…。もしかすると、「みんなで合わせよう」は、今の時代の流れには逆らう感覚なのかもしれません。ちょっと我慢することも出てきますし。でも、一人一人みんな違う個が集まって、仲間で合わせていこうとすることは、子ども時代に大切な経験だと思っています。仲間の声や音に耳を傾け心を合わせ、練習を重ねていきます。今年はどんな音楽ができるかな。保護者の皆様、今年も励ましのお声かけをどうぞよろしくお願いいたします。

こころと あたまの 深呼吸

学校図書館主任 白方 弘子

今年の読書週間の標語は「こころと あたまの 深呼吸」です。読書は、学習の基礎となる読む力を育てるだけでなく、思考力や想像力を育てることにもつながります。それはまさしく、心の栄養と言えるのではないのでしょうか。

小さいときから読み聞かせなどを含めて読書に親しむことにより、心に栄養が与えられて豊かな内面が育つと思います。学校でも週に1時間読書の時間を設け、本に親しんでいます。秋の夜長、たまにはスマホを置き、テレビを消して、親子で読書に親しんでみるのはいかがでしょうか？

今年の図書委員会では、読書週間に合わせて「読み聞かせ」「読書ビンゴ」「読書スタンプラリー」を企画しています。「読み聞かせ」はすでに始まっています。低学年から教室を訪問し、読むリズムや声の出し方などを工夫して喜ばれています。図書委員も回数を重ねるごとに慣れてきました。「読書ビンゴ」は、様々なジャンルの本に親しんでほしいとの思いからビンゴをつくっています。低学年用、中学年用、高学年用と学年に合わせたビンゴになっているので是非チャレンジしてほしいです。「読書スタンプラリー」は、読めば読むほど「次回2冊借りられる券」や「しおり」が手に入ります。楽しい読書週間になりそうです。

岡田っ子のみなさん、本っていいよね！



がんばった運動会



一ばんがんばったことは、おどりで。いっぱいれんしゅうし、ほんきをだしておどったら、うまききれにおどれました。おきやくさまがいっぱいいて、きんちょうしたけど、やるきがでて、うまくできました。さいこうのうんどうかいでした。 1年	家ぞくみんながおうえんに来てくれました。ダンスはいちばん前のれつでたくさんの人がいて少しきんちょうしたけれど、元気いっぱい楽しくおどることができました。赤組のゆうしょうを聞いたときは、とび上がってよろこびました。 2年	回転丸太では、みんながしっかりと声かけをしたことで、心が一つになって、最高の運動になったと思いました。ダンスはむずかしかったけれど、しっかりと練習ができたので、のりこえることができ、どんどんよくなったと思います。 3年
運動会で楽しかったのは「海ぞくバルロード」です。選んだ緑のゾロが見事に当たってうれしかったです。あさぶくろになかなか足が入らず、「このままでは負けてしまう」と思ってあせりました。でも、練習の成果を発揮して、1位となることができてよかったです。 4年	いろいろな人がいる中、ソーラン節をおどるのはきんちょうしたけど、大きな声を出しておどることができました。ソーラン節が終わった後の6年生の行進が堂々としていてとてもかっこよく、ぼくも来年はあんな風に歩きたいと思いました。 5年	小学校最後のソーラン節は心が熱く燃えました。行進は、ただ歩くだけなのにこんなに難しいとは思いませんでした。優勝はできなかったけれど、みんなで笑顔で終われました。帰りながら、両親に「行進かっこよかったよ。」と言われうれしかったです。 6年